

案件概要書

2014 年 2 月 25 日

国際協力機構南アジア部南アジア第一課

1. 案件名（国名・サブスキーム）

国名：ブータン王国

案件名：国道一号線橋梁架け替え計画（The Project for Reconstruction of Bridges on Primary National Highway No.1）

2. 事業の背景と必要性

(1) 当該国における橋梁整備の開発実績（現状）と課題

ブータンでは道路による交通が主要な交通・輸送手段であり、効率的で安全な道路網及び橋梁整備がブータンの社会・経済の発展に不可欠である。しかし、国土の大部分が険しい山岳地帯であるため、地形的な制約もあり幹線道路は少なく、また必ずしも十分な仕様で道路を建設できていない。特に国道一号線はブータン国内の東西をつなぐ唯一の幹線道路であり、交通・輸送手段として重要性が高いが、同国道に架かる橋梁の中には設置後 30 年以上経過し耐用年数が過ぎているものもあり、東西コネクティビティの確保の課題となっている。

(2) 当該国における当該セクターの開発政策と本事業の位置づけ及び必要性

国家開発大綱である「ブータン 2020」や「道路セクターマスタープラン（2007-2027）」において幹線道路の整備が重視されていることに加え、「第 11 次五ヶ年計画（2008 年～2013 年）」では既存道路・橋梁の維持・補修、橋梁の架け替え等の計画が示されており、本事業はブータンの長期的、中期的、短期的開発政策に合致する。

(3) 橋梁整備に対する我が国の援助方針

我が国は対ブータン援助重点分野である「経済基盤整備」の下、「道路網整備プログラム」において、効率的・安定的な運輸・交通を確保し、地域の経済活性化を促進するため、道路網・橋梁整備への支援を行っていくこととしている。また対ブータン JICA 国別分析ペーパーにおいても、依然として大きな都市部と農村部の地域間格差の是正を開発課題としてとらえ、特に地方部におけるアクセス改善に重要な役割を果たしている道路建設や橋梁建設が重点課題であると分析しており、本事業はこれら計画・分析に合致する。なお、我が国はこれまで無償資金協力により 4 度の橋梁架け替えおよび 3 度の道路建設機材整備に係る実績がある。

実施年度	案件名	供与限度額	実施機関
1987 年	道路建設機材整備計画	4.12 億円	公共事業・定住省 道路局
1995 年	第二次道路建設機材整備計画	5.57 億円	公共事業・定住省 道路局
2001～2003 年	橋梁架け替え計画	17.13 億円	公共事業・定住省 道路局
2003 年	道路建設機材整備拡充計画	6.03 億円	公共事業・定住省 道路局
2005～2007 年	第二次橋梁架け替え計画	13.02 億円	公共事業・定住省 道路局
2009～2012 年	第三次橋梁架け替え計画	24.94 億円	公共事業・定住省 道路局
2011～2013 年	サイクロン災害復興支援計画	10.19 億円	公共事業・定住省 道路局

(4) 他の援助機関の対応

世界銀行は 1999 年に 15 百万米ドル、2007 年に 10 百万米ドルの地方道路整備に係る支援を行っている。また、アジア開発銀行は第二東西道路の整備に対し総額 90 百万米ドルの支援を行っている。

3. 事業概要

(1) 事業の目的

ブータン国道一号線上にかかる橋梁のうち、建設後 30 年以上の老朽化及び外的要因（大型車両通行や地震等）による致命的な損傷の危険性があるのみならず、拡幅中の国道一号線のボトルネックとなり得る狭幅員の橋梁を架け替えることで、耐荷重の増加や幅員の拡幅を図ることにより、ブータン国内の東西のコンネクティビティを確保し、更なる全国的な経済インフラ整備を促進するとともに、特に都市部と地方部の格差を踏まえ、地域間のバランスのとれた社会経済発展に寄与する。

(2) プロジェクトサイト/対象地域名

ウオンディポダン県、トンサ県

(3) 事業概要

1) 土木工事、調達機器等の内容

3 橋の架け替え：チュゾムサ橋（28m）【ウオンディポダン県】

ナグニチュ橋（25m）、ニカチュ橋（28m）【トンサ県】

2) コンサルティング・サービス/ソフトコンポーネントの内容

詳細設計、入札補助、橋梁建設の施工監理、維持管理に係る技術指導

(4) 事業実施体制

実施機関：公共事業・定住省道路局

(5) 環境社会配慮・貧困削減・社会開発

1) 環境社会配慮

① カテゴリ分類 B

② カテゴリ分類の根拠：本事業は、「国際協力機構環境社会配慮ガイドライン（2010 年 4 月公布）に掲げる橋梁セクターのうち大規模なものに該当せず、環境への望ましくない影響は重大でないと判断され、かつ同ガイドラインに掲げる影響を及ぼしやすい特性及び影響を受けやすい地域に該当しないため。

③ その他・モニタリング：協力準備調査にて確認する

2) 貧困削減促進：貧困層の生計維持に必要な幹線インフラが修復される。

(6) 他事業、ドナー等との連携・役割分担：特になし。

(7) その他特記事項：特になし

4. 過去の類似案件の評価結果と本事業への教訓

(1) 類似案件の評価結果

第二次橋梁架け替え計画（2005～2007 年）の事後評価等において、持続性を高める留意点の一つに、相手実施機関の維持管理キャパシティを十分考慮した設計を行うことが指摘されている。

(2) 本事業への教訓

本事業は実施機関の維持管理に関する対応能力や現状を十分に勘案した計画作りに留意する。

以 上

〔別添資料〕地図

国道一号線橋梁架け替え計画地図

